

20m060発表記録

目標に準拠した評価の意義と展開



各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (形成的評価「自己評価」)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ ()

・ 診断的評価は始め(入学時)

→ 実力テストや体力テスト

・ 形成的評価は途中

→ ハラスト

・ 総括的評価は最後

→ 期末テスト

・ 評価は発展性を把握するために様々な評価方法を実施する必要があるのである。

■肯定的 web ()

まとめ (大学の評価)

・ 形式的評価は科目の目標を習得している
× しか、もし習得していないなら、それを習得する
ために何をしなければならぬかを判断する

・ 総括的評価は達成させた学習成果の程度
を総括的に把握する評価
→ テストだけの勉強をするためテスト範囲外は
勉強をしない

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

ネット社会になりつつあるので、
それに適応するのが難しくな
ってきた。

■ 5段階班の自己評価 ()

■否定的 web ()

まとめ ()

・ 多岐の真の理解のために自分の問題を喫食し、
× 自らの能力の不足を補おうとすることが重要。

・ 芸術やスポーツなどにも当てはまる。

・ 苦しい事を克服するためこの肯定感が必要。

■班としての要約

まとめ ()

・ 教育評価の役割は子どもたちに序列化する。

・ 学力を保證するだけでは「それは不十分」で、

自己評価とは評価などによって今後の学習の仕方や
行動を自己調整したり、その能力は自己認知。

キーワード 10~20 語 明日中に 概念系統図

・ グループ・反省

・ フィードバック・行動主義

・ 診断的・通知表

・ 形成的・自己評価

・ 総括的・自己認知

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことを
のべよ。

ICT活用例を自分でプログラミング
を作って演習するというのは教師側
の負担が大きいと思いました。

形成的評価と自己評価



各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (開成的评价と自己评价)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (学習评价の役割)

- ・ 言語的評価: 自前評価: 過去の計画に利用
- ・ 形成的評価: 授業中過程で行われ
つづきの把握に有用

総合的評価: 学期末での一つの総括の
大まな評価

自己評価: 自己の行動を評価
今後の行動力の変化につなげる。
X9認知系

■肯定的 web (自己肯定感の重要性)

まとめ (自分自身でも自己肯定感が低い)

- ・ 自己評価の低下、自己肯定感の低下
- ・ 学習の低下につながる
- ・ 自ら問題を発見し解決へ向かう力が
この自己肯定感でもある故、重要である。

■否定的 web (開成的评价は使わない)

まとめ (総合的評価が利用される)

- ・ 形式的評価や形成的評価は、
結局身内でしか使えない。

総合的評価により過程に関係あり

■班としての要約

まとめ ()

- ・ 否定的 web から
- ・ 教育や、その評価は、進歩や知識に
使う事か、使うわけにはない。
- ・ 内面の進化をうながす必要がある。

キーワード 10~20 語 明日中に 概念系統図

- ・ 言語的評価、自前評価、言語改善、学習態度
- ・ 形成的評価、つづきの発見、言語修正、自己修正
- ・ 総合的評価、学力の発展性、反省
- ・ 自己評価、自己言調整
- ・ X9認知系、X9認知的知識、X9認知的活動、学習の活性化

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取
り組みについて感じたことをのべよ。

■ 同じ内容を学習して、人によって、何を
重点とおか異なっている。

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことを
のべよ。

■ 自己肯定感重要で
高度な学習につながる。

パフォーマンス評価 とポートフォリオ評価



教育方法論 20m 班まとめ (授業者が書くこと)

第 回

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (パフォーマンス評価とポートフォリオ評価)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (パフォーマンス評価は生徒が主体になり

・社会にどのように活用できているかを評価しており、

・ポートフォリオ評価は結果だけでなく判断する

・のではなく、その結果にたどり着くまでの

過程も評価する。

■肯定的 web ()

まとめ ()

・パフォーマンス評価は、あらかじめ課題基準が

・明確であり、評価尺度も決まっているので客観的

・だけでなく、より個別具体的に詳細な評価を

・行うことができる。

・ポートフォリオ評価は過程・プロセスを評価するので
その人の

■否定的 web ()

まとめ ()

・パフォーマンス評価の点数化されない

・能力の評価が難しい。

・ポートフォリオ評価において、個別の達成度評価が

分かりにくく、主観、志趣入試などの内申書と

における点数化の困難さが挙げられ、

■班としての要約

まとめ ()

・これから社会で必要となる能力、資質を踏まえ

・基本方針、学習・指導方法の在り方や評価方法の在り方

が必要となる、と。

キーワード 10~20 語 明日中に 概念系統図

・パフォーマンス評価とポートフォリオ評価、自己評価、本目録評価

・ルーブリック・カリキュラム適合性・比較可能性、学習活動

・教育成果・客観的テスト

・

・

・

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■ パフォーマンス評価とポートフォリオ評価において

評価基準が難しく感じた。

ICT活用例

"General" で会議中

01:29:33

制御を要求

参加者を表示

退出

Microsoft Word 2016

ICT 活用例

2 班 319034 河合克樹

1. 単 元
三角関数 (三角関数以外も可)
2. テーマ
Web 演習
3. ICT 活用のねらい
・問題演習を web 上で行うことによって、問題演習回数の増強、生徒の ICT 利用促進、適切なフィードバックの材料にすることをねらう。
・PHP 言語の自由度を活かし、過去の解答履歴から苦手分野を判別したり、解答者の解答情報から適切なアドバイスや指示を提示する。
4. ICT 活用例

学習内容	指導過程・学習活動	指導上の留意点
ICT 活用の場面 (自宅学習)	ICT 活用の手順 ○学校にて、演習問題の範囲を指示、あるいはプリント配布。Web 演習の URL を提示	○生徒全員がインターネット接続環境を

1/2 ページ 637 文字 日本語

16:20 2020/11/10

+4 野 豊 鮎 船 橋 北

■各班ワークシート (模擬授業指導案準備)

班で討議したことを書くこと (指導案の要約ではない)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (ICT 活用例)

■学年・単元・本時の内容 (提示する教材)

- ・学年 高校 2年 (2年以上でも可)
- ・単元 三角関数を想定 (論証を除く他単元でも可)

・内容 演習, 家庭学習

・教材 問題集 表は フォリント問題

■目標、内容・指導の概略等

- ・生徒の ICT 利用促進, スキル取得
- ・Web 上で演習問題を解答
- ・計算結果を求める問題はそこで正誤判定。途中式が重要な場合や説明を要求する問題は後日、教師の目で採点を行う。

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

- 全体として、質疑応答で詰まることが少なくなり、上手く受け答えできるようになってきたと思う。

2*) 今日の授業で、ポイントと思ったことをのべよ。

- 評価方法について、全体的に教科書を読んで理解する。

■教材・板書計画、評価の観点・規準等

- ・ Web 演習 のみで平常点の成績評価を行うのではなく、他の演習やその他観点と組み合わせて評価することが必要。
- ・ 技術的な問題が生じた場合は公平性を担保するために、直ちに評価材料から除外する等の配慮が必要。

■工夫した点、出典等

- ・ Web 上で演習するという目的であれば google form や Microsoft forms でも良い。しかし今回の教材は、生徒の誤答から何を間違えたかを推測し、適切な図や表、式などヒントを提示して、生徒に考えてもらえるよう設計している。より教育に最適化されたシステムを作りたいことを目指す。

4*) 今日の授業のキーワードのうち、班別討議、全体発表での自分自身の発言に用いたものを3つ取り上げ、説明せよ。

■

- ・ ICT 利用促進
 - ・ 生徒のタブレット端末及び PC 操作スキルの向上
- ・ 演習
 - Web 上で演習を行う。
- ・ フィードバック
 - 演習の解答や結果に応じて適切なアドバイスやヒントを提示する。

ICT活用例



確認問題05



各班ワークシート (確認問題まとめ)

- 1) (班内) まとめ
各問のポイント

■問1

関心・意欲・能力。

■問2

授業において、生成される子どもたちの
発言・文章が最も重要。

→ これをもとに話し合いや討論を
展開していく。
→ それぞれの価値を見抜き、授業
の中にかかしていく。

- 2) 問題全体を通して見て、全体のポイントと
思ったことをのべよ。

■

教材を作る時には、生徒の
状態・行動を中心に考える。

- 2*) 問題全体を通して見て、気づいたことをのべ
よ。

■

様々な立場で教材やメディア
について考える必要がある。

■問3

メディアを使いこなして自由になると
主張する立場と、メディアを制限し
秩序を守る主張する立場の
相克である。

■問4

『上からの道』... 教科内容から教材へと下降
→ 教科内容の教材化

『下からの道』... 教材から教科内容へと上昇
→ 素材の教材化

複数の教科書と比較する

スティーラーの機能

- 2**) 確認問題に取り組んでみて、確認問題に取り
組む時間や、問題内容と発表班との関係などにつ
いて、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■

教材から情報を拾いあげた
ため、深いところまで調べること
があまりできていなかったと思う。しかし
発表後の解説で考える必要があること
が出来たと思う。